

働き方・休み方改善 ポータルサイトを活用して 働き方改革に取り組んでみませんか？

<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>

働き方・休み方改善 ポータル

検索

The screenshot shows the homepage of the portal with several callout boxes:

- 【自己診断】診断ページへ**: Points to the '自己診断' (Self-diagnosis) menu item.
- 企業の取組事例の検索ページへ**: Points to the '事例検索' (Case search) menu item.
- 行政による働き方・休み方に関する支援施策等のページへ**: Points to the '施策・支援策' (Measures and support) menu item.
- 登録すると働き方・休み方に関するメルマガが配信されます**: Points to the 'メルマガ' (Newsletter) link in the top right.
- 働き方・休み方改善指標による企業の自己診断ができます。社員自身が働き方・休み方を診断し、現状を認識することができます**: Points to the main content area featuring a flowchart: '見える化' (Visualization) + '経営トップの判断' (Management top decision) = '働き方・休み方改善' (Work and holiday improvement).
- 各地域(自治体等)による取組を紹介します**: Points to the '各地域の取組を見る' (View regional initiatives) button.
- 働き方・休み方に関する【注目情報】ポータルサイトに関する【新着情報(事例追加等)】をお知らせします**: Points to the '注目情報' (Featured information) section.
- 働き方・休み方に関するシンポジウム・セミナー情報を紹介します**: Points to the 'シンポジウム・セミナー情報を見る' (View symposium/seminar information) button.

適切な労働時間で働き、ほどよく休暇を取得することは、仕事に対する社員の意識やモチベーションを高めるとともに、業務効率の向上にプラスの効果が見込まれます。社員の能力がより発揮されやすい環境を整備することは、企業全体としての生産性を向上させ、収益の拡大ひいては企業の成長・発展につなげることができます。

他方、長時間労働や休暇が取れない生活が常態化すれば、メンタルヘルスに影響を及ぼす可能性が高くなり、生産性は低下します。また、離職リスクの上昇や、企業イメージの低下など、さまざまな問題を生じさせることとなります。社員のために、そして企業経営の観点からも、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進が求められているのです。

働き方・休み方改善ポータルサイトは、企業の皆様が自社の社員の働き方・休み方の見直しや、改善に役立つ情報を提供するサイトです。働き方・休み方の改善に是非ご活用ください。

おすすめコンテンツ ①

企業の取組事例を検索できます

働き方改革に取り組んでいる企業の事例について、業種別、規模別で検索、キーワード検索できます。厚労省が取材した先進事例、コンサルタントによる働き方の課題分析から提案、その後の取組状況までを示した事例等、多様な事例を紹介しています。自社の働き方改革の取組の検討の参考にご活用ください。

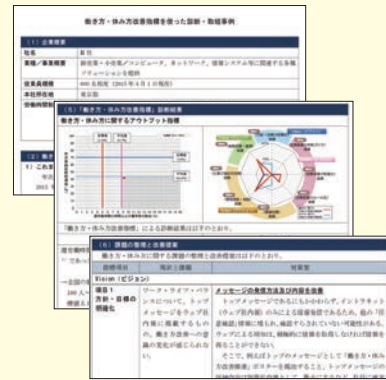
【検索画面】



【先進事例】



【働き方取組事例】

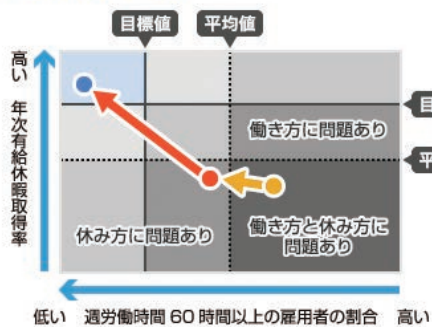


おすすめコンテンツ ②

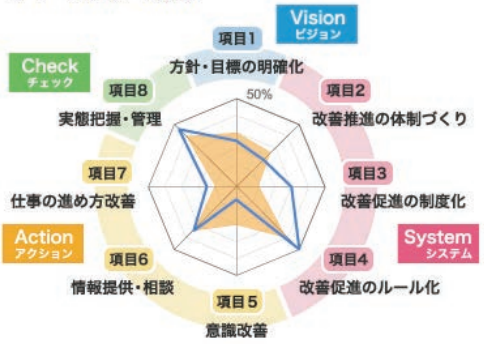
企業・社員向けの診断ができます

「働き方・休み方改善指標」を用いることで、長時間労働や年次有給休暇に関する状況を把握しやすくなります。あなたの会社の「働き方・休み方改善指標（企業向け）」を作成し、実態と課題の把握を行いましょう。指標を用いた診断を行うと以下のようなポジションマップとレーダーチャートが表示されます。

●ポジションマップ(イメージ図)



●レーダーチャート(イメージ図)



「ポジションマップ」と「レーダーチャート」を使うことで次の3つが可能になります。

- 1 働き方や休み方に関する問題の有無が分かります。
- 2 企業の人事労務担当者が自社の状況をチェックすることで、働き方や休み方に関する実態や課題を分析できます。
- 3 企業が自社の働き方や休み方の改善に向けて、対策を検討するためのヒントが得られます。

※ID登録していただくと診断結果の保存ができ、過去のデータとの比較ができます。自社のIDを登録し、企業における取組の進捗状況を経年的にチェックしましょう!

★スマートフォンにも対応予定です。こちらも是非、ご活用ください。